

初夏の花々とアートをたのしむ

あじさい、ゆり、花菖蒲、初夏を彩る花々を見に出かけませんか。緑のシャワーを浴びながら行く、山里の小さな美術館もご案内しましょう。

1枚の写真に誘われて、あきる野市の南沢あじさい山へ

数年前、ある広報紙の表紙に掲載された1枚の写真に心ひかれました。それは山道の両脇に群生したあじさいの花々。森閑とした林の中に夢幻の世界が広がっているかのように思えました。以来、どんな場所にあるのか行ってみたいと…。

そこはJR武蔵五日市駅から約3kmほどの「南沢あじさい山」。近くに造形作家、友永詔三（あきみつ）さんの「深沢小さな美術館」もあり、両方を訪ねてみることにしました。

武蔵五日市駅北口から歩いて1、2分行くと赤いトンがり帽子にりっぱな白ひげをたくわえた丸木の人形と案内標識にぶつかります。南沢あじさい園や深沢小さな美術館などの方向を示す手書きの案内板。しばらく歩くとまた、かわいいトンがり帽子の案内が道端に。



元気澆刺の南澤さん

思わずシャッターをきってしまいます。これは深沢小さな美術館の館長、友永さんが生み出したキャラクター、森の番人Zi Zi（ジージー）像というところがわかりました。畑の中、人家の庭先、道路端に「あった、あった」とZi Ziを探しながら歩くと何とも楽しい。ボディもどつりしたもの、鉛筆のようにひよろ長いもの、表情もすべて違うのです。そして、緑のグラデーションのような里山の風景、鳥のさえずり、三内川の流れ。本当に心洗われるウォーキングです。バスの便がないので、車か歩きますが、ぜひ歩くことをおすすめします。

40年植え続けたあじさいの花

のんびりと30分ほど歩くと道が二股に分かれ、左へ400mであじさい山、右へ行くと美術館、の道しるべがあります。そして山の入口にあるのが、あじさい山の持ち主、南澤忠一さん（80歳）の自宅。南澤さんは約40年前、自宅の庭にあった2株のあじさいを山に植え替え、毎年挿し木をしては植え続け、今では1万株に上るあじさい山をつくった方です。養蚕をしていた家に生まれ、この山では昔、桑の木を育てていました。南澤さんは製材業を営みながら、出勤前朝の4時から山に入り、あじさいの世話。65歳で引退後はその世話に明け暮れる毎日です。あじさいを見に来る人から、「きれいですね」と喜んでもらうにつれ、あじさいの株も増え、お客さんのために庭に公衆トイレまでつくりました。

6月中旬から7月上旬にかけて、スギやヒノキの林道500mほどが青や白、紫やピンクのあじさいで覆いつくされます。あの写真で見た山の道が森の中に続いています。途中には手づくりの休憩所まであります。それにしても一人でよ



南沢あじさい山 左側の杉木立の間もすべてあじさいが咲く



モミジなどの樹木に覆われた外観



灯りのオブジェが雰囲気
醸し出す館内



上) 森の番人 ZIZI
美術館まで30人
くらいが案内して
くれる
左) 喫茶室 テー
ブルもイスもドア
も友永さんが制作



自然と芸術とのハーモニー

大変な仕事を実に楽しそうに話す南澤さんでした。シーズン中は近所の人々が植木や山野草の売店を開きます。

お茶をするならあじさい山手前にあるログハウス「無心庵 深沢小屋」へ。24年前に大雪で倒れたこの辺りのスギやヒノキを使って、オーナーの小林勝利さん(64歳)が一人で建てた家。最初は別荘として使っていましたが、5年前から軽食喫茶として、うどんやコーヒー、ビール、地元産の食材を使ったケーキなどを出しています。うどんを注文しましたが、うどんが来る前に「裏で掘りたての筍ですよ」と奥さんがゆでた筍をサーブスしてくださいました。刻み揚げとネギを入れただけのシンプルなおうどんは予期せぬ?おいしさ。屋外の真新しいスギの一枚板テーブルが味わううどんは格別でした。

くまで、と感動してしまいます。

「花の時期の1ヶ月間ほどを『きれい』と言ってもらえるためには、見てもらう前に早朝から草刈りです。花が終わったら剪定と翌年の育苗で。冬は間伐で、暖かくなったら新しい株植え。世話は1年中ですが好きでやっているとだから。花を見るなら朝がいいですよ」

テラス席やピザを焼く石釜、手作りの温もりいっぱいこの店。ライブや山遊びなどイベントが盛り沢山の面白い空間のようです。



深沢小屋

◎ 10時~17時 木曜
定休(季節、天候により
変更あり)

■あきる野市深沢371
■☎042(595)1806

分岐点に戻り、三内川沿いを進むと今度は黄色い帽子の二人のZIZIのお出迎え。ここを左に上がると右手に深沢小さな美術館があります。まず出会う、鯉が横から見えるガラス張りの池に、ただならぬ処だと予感。そして童話の中にでてくるような外観に、山あいで宝物を発見したような気分になりました。

ここはNHKの連続人形劇「プリンプリン物語」の人形制作で知られる友永昭三さん(65歳)の私設美術館。26年前に東大和から移住しこの地へ。築180年の古民家を自力で改築。ガウディの初期の建築を参考にするため、スペインに向いたほどです。古民家の梁や柱などの構造はそのままに、床の下から出てきた石を積み、ドアや窓枠などもすべて手作りして8年がかりで改築。未だ改造中だとか。建物すべてが作品です。



友永さん ZIZIとともに
喫茶室入り口で

館内は灯りのオブジェを中心に、強烈な個性を放つ木彫の少女像、木版画、「プリンプリン物語」の人形たちなど、独特の友永ワールドを楽しむことができます。小さな喫茶室のユニークな窓からは緑したたる庭と池。自然と一体化した心地よいひとときが過ごせます。「水と山がある所で育ったので、自然の中で生活するのが合っているのです。新緑の頃が一番好きですね。来館の方々には全体の雰囲気を楽しんでほしい」と友永さん。端材や廃材に再び生命を宿らせたZIZIは今50体ほどが美術館への道案内係として活躍中。7月から紀尾井町のニューオータニ美術館で「友永昭三展」が開催(7月24日~10月11日)されます。

開館時間 10時~17時

◎ 水・木曜(12月~3月冬季休館)
入館料 大人300円
小中高生200円

■あきる野市深沢492
☎042(595)0996

近場で花巡り

ゆりと花菖蒲

ところざわのゆり園

西武狭山線西武球場前で下車して徒歩3分、かつてのユネスコ村跡地につくられた「ところざわのゆり園」は広さ約3万㎡におよぶ敷地に50種類、約45万株ものゆりの花が咲き誇ります。

6月上旬から7月上旬まで開園予定ですが、早咲きの色とりどりのすかしゆり種から咲き始め、芳香を放つ遅咲きのハイブリッド種へと移っていきます。

狭山丘陵のなだらかな傾斜地に咲く、ピンク、白、黄、赤、オレンジ、その鮮やかな色彩と初夏の空がマッチ

して美しく、訪れた人々からは感嘆の声。園内には園内一周約1kmの自然散策コースと、約100mのらくらく鑑賞コースが設置されていて、休憩所も3箇所あり森林浴を楽しみながらゆつくりと散策できます。

また、園内売店でゆり根の天ぷらを賞味してはいかが。シーズン中ゆりの鉢植えも販売され、スタッフが栽培についてアドバイスをしてくれます。期間中「フォトコンテスト」も実施中です。「関東エリアでこのようなゆり園はないと思いますので、一度いらして、そのすばらしさをご覧ください」と話を伺った西武ドームの堀口さんから。

あじさいと同じく、1ヶ月間の見頃ののために、専門家の手で



1年がかりで丹精されたゆりの花は一見の価値あり。見頃は天候によって変わる場合がありますので、ホームページや西武線の駅で開花状況を調べてからどうぞ。ゆり園入園券と発駅から西武球場駅までの往復乗車券がセットになった「ゆり・花菖蒲散策きっぷ」も西武線各駅で発売中です。

営業期間 6月上旬～7月上旬(予定)
営業時間 9時～17時
(最終入園16時30分)

入園料 おとな(中学生以上) 千円、
子ども(4歳～小学生) 300円

■所沢市上山口2227
☎(04) 2922-11370
(7月中旬まで問合せ可)

東村山菖蒲まつり

北山公園の花菖蒲も見頃。菖蒲園が一望できる見晴台もあり、模擬店、イベントもいっぱい。東村山市内の名産品や地場野菜の販売、花菖蒲絵葉書や園内に咲く花菖蒲のポット販売もあり、北山公園が大賑わいです。

開催期間

6月5日(土)～20日(日)

10時～16時

◆お琴の演奏

12日(土) 13日(日) 10時～16時



北山公園の花菖蒲 (写真提供：西武鉄道株式会社)

◆シャトルタクシー

期間中の土・日曜日 10時～16時
東村山駅西口より北山公園まで
最低料金(1000円)
乗合タクシー(1時間に3本)

◆人力車

12日(土) 13日(日) 10時～16時
北山公園発 市内名所めぐり3コース(一人5000円～15000円)

◆みんなが選ぶみんなの東村山菖蒲まつり写真コンクール

募集期間 6月5日～7月31日
(問) 042(394) 0511
東村山市商工会

■西武新宿線東村山駅から東村山駅から徒歩20分



華やかに美しく ところざわのゆり園 (写真提供：西武鉄道株式会社)